この商品は以下の加熱器具でご使用になれます





この商品は SG マーク認定商品です - ク制度は調理器具の欠陥によって

企 クッキングヒーターで使用の際の注意

- ●効率良く加熱して頂くために、鍋の底に付いた水滴等はきれいに拭き取ってください。
- ●フライパンはヒーターの中央に置いてください。IH (電磁調理器) で加熱中に「ブー ン」といった音が生じる場合がありますが、IH(電磁調理器)と鍋の振動の波動が共 鳴するために生じるもので、鍋の異常ではありません。
- IH (電磁調理器) は電源を入れると急激に鍋を加熱する為、少量の油の場合 30 秒で 発火点に達します。その為、下ごしらえなど少量の油で炒めものを行なう場合は、油 温が必要以上に上昇しないよう、火力(出力)を「中」以下で調理してください。
- IH (電磁調理器) でご使用の場合は、極度の空焼きをしないで、必ず中火以下でお使 いください。最大火力でのご使用は本体変形及び器具の破損の原因となります。
- ●予熱をかける時は必ずスタートの火力が中火以下であることを確認してから鍋をのせ

てください。(いきなり強火にな っていると、極度の空焼き状態に なり、底面が変形しいます)予熱 の目安としては、中火で本体が熱 くなる程度(約3~4分)で充 分で、その後少し多めの油を入れ、 表面全体にまんべんなく油をなじ ませながら、熱くなってから材料 を入れ、調理を始めてください。

※電磁調理器のプレート表面に鍋の 跡がつく場合があります。専用ク リーナー等で取り除いてください。

※お使いのクッキングヒーターの取 扱説明書をよくお読みの上、正し くお使いください。

材料の種類/

ステンレス鋼(クロム18%・ニッケル8%)(底の厚さ0.6mm) アルミニウム合金 ステンレス鋼(クロム 18%) (底の厚さ) はり底 3.5mm

- 法/22 cm 満 水 容 量/3.2 L
- ■取扱い上の注意 イ.空だきをしないでください。
- 口.使用後はよく洗って乾燥させてください。
- ハ.取っ手の部分が熱くなる場合があります。
- 二.縁まで水等を満たした状態で使用しないでください。

ホ.なべの中に料理を保存しないでください。 和平フレイズ株式会社

新潟県燕市物流センター2丁目16番地

MADE IN CHINA

DA-15

S CH · IH



100-200V 熱源対応 リゾット鍋 22cm

この度は、お買い求め頂きまして誠にあり がとうございます。この商品は家庭で調理 するために使うものです。

で使用の前に取扱説明をよくお読みの上、 正しくお使いください。お読みになった後 は、必ず保管してください。

⚠ 取扱上の注意

- ●調理中や直後は本体、取っ手が熱くなっています。注意してください。
- ●鍋はコンロの中央部に乗せて安定させて使用してください。 ●炎が底面からはみ出さないように使用してください。取っ手が焦げて危険です。 異臭も発生します。又、隣接するコンロの炎が取っ手にあたらないように向き を調整してください。
- ●取っ手やつまみがゆるんだ状態で使用すると脱落して火傷の危険があります。 ネジを締め直してから使用してください。
- ●取っ手のガタツキや取っ手、つまみの破損に対し、改造や応急処置等の手当て をしての使用は危険ですのでやめてください。
- ●空炊きはしないでください。空炊きは火災や本体の変形、取っ手やつまみの破 損の原因となります。
- ●吹きこぼれ、煮こぼれしないように使用してください。ガスの火が消えたり、 調理器の故障の原因となります。
- ●天ぷら料理等に使用する場合は油の過熱により火災の危険があります。調理中 に場所を離れる時は必ず火を止めてください。又、天ぷら料理に際しては、蓋 をしないでください。油の温度が異常に高くなり発火して火災の危険がありま
- ●ストーブの上では危険ですから使用しないでください。
- ●オーブンレンジでは使用しないでください。取っ手破損の原因となります。
- ●電子レンジでは使用しないでください。電子レンジの故障や火災の原因になる ことがあります。
- ●調理後は内容物を保存しないでください。錆の発生原因となりますので他の容 器に移してください。
- ※製造上、内面は細かい汚れが付着していることがあります。最初に使用する時 は食器用洗剤を付けて、スポンジ等で充分に洗いすすいでください。又、1~ 2回お湯を沸かしてからご使用ください。
- ※本体にシール等が貼ってある場合は、取り除いてから火にかけてください。 ※一般家庭用の200V熱源に使用できますが、食堂、レストラン等の業務用熱
- 源で高出力タイプのものは、変形の可能性がありますので、おやめください。 ※大変熱伝導が良いため、中火以下の火力で充分調理ができる省エネタイプ。必 要以上の火力は資源のムダ使いだけでなく、ハンドルの損傷につながりますの で御注意ください。

-⚠ 注 意 表 示-

みそ汁など、調理物によっては、調理中・再加熱(温め直し)の際、突 沸現象により内容物が噴き出したり、場合によっては鍋が転倒して、火 傷や物品の破損の危険があります。特に赤だし味噌(特にだし入りの豆 味噌)や、具が少なくなったみそ汁を再加熱(温め直し)する場合には 必ず、以下事項を厳守してください。

- 1.お玉で良く、かき混ぜてから鍋を加熱してください。 2.一気に強火で煮立てないでください。
- 3. 煮立てる際はお玉で良くかき混ぜながら行なってください。

お手入れ方法

- ●最初に使用する時は食器用洗剤を付けてスポンジ等で充分に洗い、すすいでく
- ●使用後は食器用洗剤を付けて、スポンジ等で充分に洗い、水気を拭き取ってく ださい。お手入れが不充分だと白い粉状のものが付着してきますが、水道水中 の微量成分が固まったものです。
- ●塩分や酸等を含んだ汚れを付着したまま放置したり、湿気の多い場所での保管
- は錆び発生の原因となります。 ●たわし又は磨き粉で洗いますと傷が付く場合があります。
- ●鉄やアルミ等の異種金属に製品を接触したまま放置しないでください。錆発生 の原因となります。
- ●錆の発生した時はスポンジにクレンザーを付けてこすり落とし、充分すすいで ください。

強化ガラスの取扱上の注意

- 1. 使用開始時の洗浄(手洗い)
- ・洗ってからで使用を始めてください。ガラスを傷つける恐れのある研磨剤入り のスポンジ、金属たわし、クレンザーなどを使用しないでください。
- 2. 急激な温度変化による破損の注意
- ・ガラスが熱いうちに水の中に入れたり、水をかけたり、濡れた布で触れたりし ないでください。
- 3. ガラス傷の注意
- ・ガラス製品は傷がつくと破損しやすくなります。ガラス同士あるいは、硬いも のとぶつからないように扱ってください。
- ・ガラスを落とすと、傷がついたり、破損することもありますので、落とさない ように注意してください。
- 4. 食器洗浄器による洗い方
- ・食器洗浄器は正しく使用してください。 洗剤のアルカリ成分がすすぎきれずにガラスに残るとガラスをくもらせます。

強化ガラス製器具 強化の種類:全面物理強化

- 5. ガラス、破損時の注意
- 強化ガラスは破損すると細かく割れます。 取り除く時に手を切らないように注意してください。
- 6. 電子レンジ、オーブンでの使用禁止 ・電子レンジ、オーブンではご使用にならないでください。
- 7. ガラス蓋を鍋からずらせての使用禁止
- 煮こぼれ防止等のため、ガラス蓋をずらして使用する事はおやめください。 ガラスの一部分のみに炎の熱が加わり、耐熱温度を超え、破損やヒビの入る場 合があります。